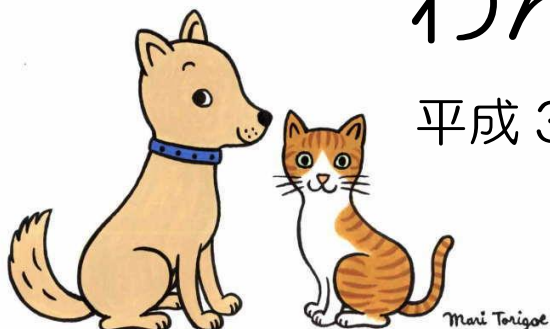


わんわんレポート

平成30年12・1月号 No.383



Copyright (C) 2010 Mari Torigoe.

川崎市動物愛護センター

川崎市高津区蟹ヶ谷 119

電話 044-766-2237



川崎市動物愛護センターは2月に中原区に移転します

今月号は、現在の動物愛護センターから発行する最後のわんわんレポートです。

現在の動物愛護センターは、昭和49年に高津区蟹ヶ谷に犬・猫の収容返還処分施設として開設し、44年間、犬・猫等の譲渡、収容動物の健康管理、動物愛護の普及啓発などを行ってきました。施設の老朽化、狭あい化等によりその役割を発揮しがたい状況となっており、再編整備を進めてまいりました。

現動物愛護センターの外観



サマースクールで施設内を見学する様子



譲渡会の様子



新しい川崎市動物愛護センターは、「いのちを学ぶ場・いのちをつなぐ場・いのちを守る場」の3つの役割を担い、**2月12日に中原区上平間1700番地8**にオープンします。

コンセプトは「動物を通じて、誰もが集い、憩い、学べる交流施設」です！



※イメージです

新センターの詳細については、次号以降で詳しくお伝えする予定です。「人と動物が共生する社会の実現」を目指して、新しい動物愛護センターでも、職員一丸となって業務に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



譲渡会のご案内

動物愛護センターでは、収容された犬や猫の新しい飼い主になってくださる方を募集するため、毎月第3日曜日に譲渡会を開催しています。ぜひお誘いあわせの上、ご来場ください。



今後の開催予定日

- ・H30年12月16日(日) 14~16時
- ・H31年1月20日(日) 14~16時

場所：川崎市動物愛護センター 川崎市高津区蟹ヶ谷119
※2月の譲渡会は、センター移転等のためお休みさせていただきます。

猫の不妊及び去勢手術補助のご案内

猫の適正飼養を推進するために、川崎市では、猫の不妊去勢手術費用の一部補助を実施しています。申請期間を2期に分けて実施しており、第2期は1月4日（金）から先着順に受付を開始します。補助の対象は、平成30年4月1日（日）から平成31年3月29日（金）までの期間に協力動物病院指定獣医師のもとで実施した手術です。詳細についてのお問い合わせは、お住いの区の保健福祉センター衛生課までお願いします。

申請期間 | 平成31年1月4日（金）から平成31年3月29日（金）まで
対 象 | ・市内において飼養管理されている猫の飼い主の方
・市内において所有者の判明しない猫を
責任をもって世話をしている方

手術時期 | 平成30年4月から平成31年3月まで
補助額 | メス1頭 3,000円 オス1頭 2,000円

※ 1世帯3頭まで。補助金交付予定額が予算額に達した時点で締め切ります。

申請およびお問合せ先 | 各区役所保健福祉センター衛生課

※ 申請書は協力動物病院で配布または市ホームページからもダウンロードできます。



川崎市動物愛護事業に皆様の寄附をお願いします

平成26年度から動物愛護関連事業への寄附要綱を設置し、平成28年度には「動物愛護基金」も創設し、皆様から多大なご寄附を頂いており、この場を借りて御礼申し上げます。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄附の方法は、以下の3通りです。

- ① 川崎市ふるさと応援寄附金などで
- ② 口座振り込みで
- ③ 物品で

詳細は動物愛護センターにお問合せいただくか、
以下のHPをご覧ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000056807.html>
又は で検索

適正飼養キャンペーンのご報告

11月は適正飼養キャンペーンとして各区役所保健福祉センター衛生課と動物愛護センターで動物の愛護と適正な飼養について普及啓発を行いました。市内一斉啓発日である11月21日には、動物愛護センターでは周辺のクリーンアップ活動及びびりフレットの配布を行いました！落ちていたゴミや動物の糞を拾い、地域の環境美化に貢献することができました。このキャンペーンが、飼い主の方々にとって動物の飼い方を見つめ直す機会となりましたら幸いです。



写真…クリーンアップ活動の様子

猫の適正飼養講座を開催しました

平成30年10月13日に、日本ヒルズ・コルゲート株式会社の入交眞巳先生を講師にお迎えして猫の適正飼養講座を実施しました。テーマは「猫に好かれる飼い主になるために」で、92名の方に受講していただきました。動画やたとえ話を交えた大変わかりやすい解説で、受講者からは「ユーモアを交えた説明でとても理解しやすかった」「大変楽しく興味深いお話だった」「これから猫たちと触れ合う際に学んだことを活かしたい」などの声を頂きました。



写真…適正飼養講座の様子